

STRATEGIC FOCUS

—2018中期経営計画の進捗

- ① 2016年度の実績ハイライト
- ② 数値目標の進捗
- ③ 2018年度に向けた注力4事業分野における戦略
- ④ フロント体制強化
- ⑤ Lumadaのさらなる強化
- ⑥ グローバルでの事業拡大
- ⑦ 社会イノベーション事業の深化に向けて

2016年度は売上収益、調整後営業利益、EBIT、親会社株主に帰属する当期利益のいずれも期初計画*1を上回り、成長に向けた基盤を構築できました。

2016年度に実施した施策をベースに、社会イノベーション事業をさらに進化させて、「IoT時代のイノベーションパートナー」をめざします。

① 2016年度の実績ハイライト

成長事業の強化を推進

IoTプラットフォームLumadaを立ち上げ、社内体制を整備。注力4事業分野を重点強化。

注力分野	事業		事業セグメント
電力・エネルギー	電力	<ul style="list-style-type: none"> 洋上向け5.2MW風力発電システムを開発し、試運転開始 国内・アジア市場へ風力事業展開を加速 	社会・産業システム
アーバン	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> 日立レールイタリアの統合とアンサルドSTSとの連携は順調 鉄道事業は今後グローバルに年率10%超で成長 	社会・産業システム
	ビルシステム	<ul style="list-style-type: none"> アジア・中東向け標準型エレベーターの開発完了 アジア・中東・欧州で販売・保守拠点を強化し、事業拡大 	社会・産業システム
金融・公共・ヘルスケア	金融	<ul style="list-style-type: none"> アジア市場にブロックチェーンなどの新技術を活用 国内SI事業は安定成長 	情報・通信システム

事業の選択と集中

グループ会社(日立物流、日立キャピタル、日立工機)の資本政策の見直しなどを実行。

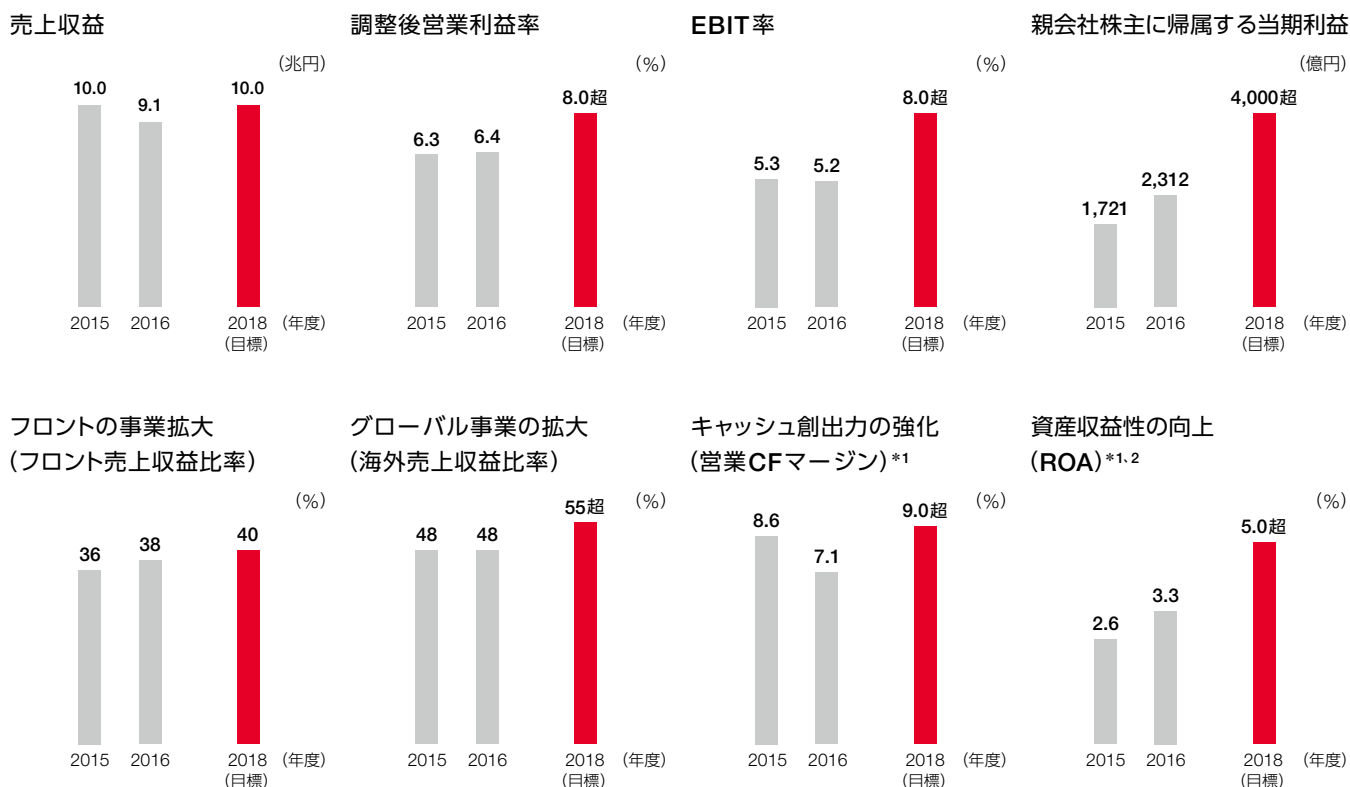
事業構造改革

低収益事業(情報・通信機器、海外プラントEPC*2ほか)の縮小・撤退などの事業構造改革を実行(2015年度比で、調整後営業利益約400億円改善)。

*1 期初計画: 2016年5月時点

*2 EPC: Engineering, Procurement and Construction (設計・調達・建設)

② 数値目標の進捗

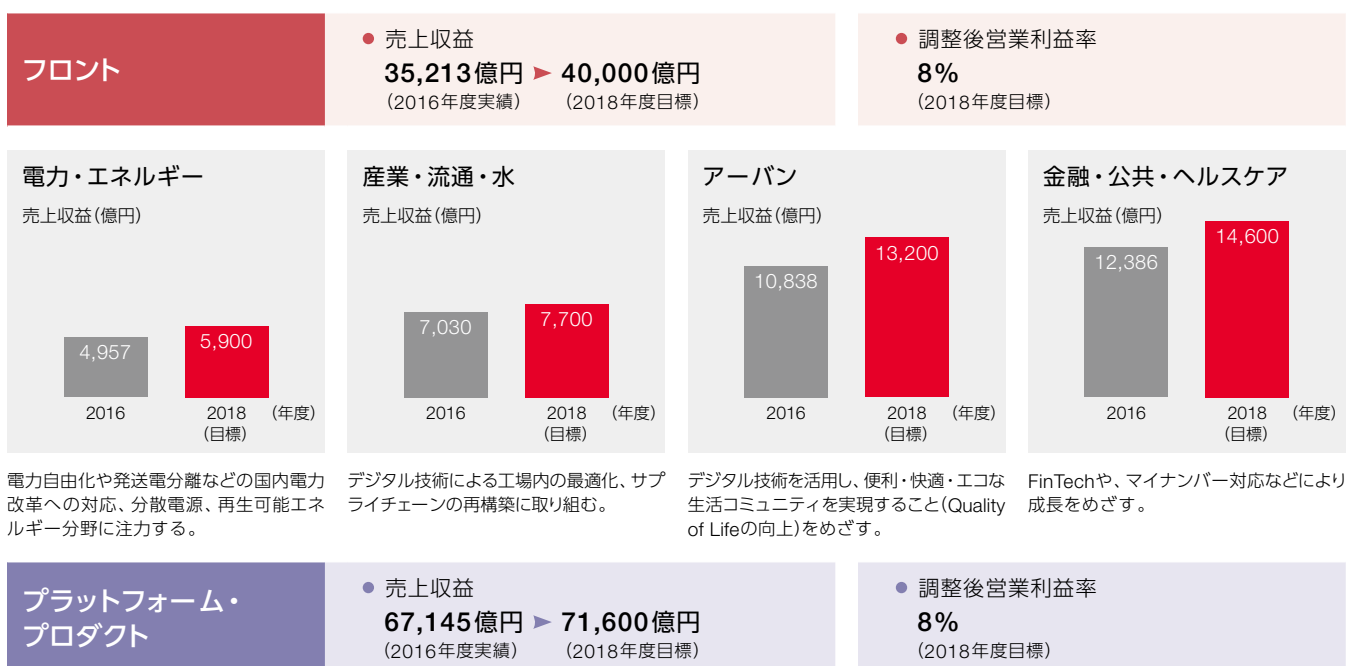


	2015	2016	2018(見通し) (年度)
為替レート(平均)	米ドル: 120円	108円	110円
	ユーロ: 133円	119円	120円

*1 製造・サービス等

*2 ROA (総資産当期利益率) = 非支配持分控除前当期利益 ÷ 総資産 (当年度期首と当年度末の平均) × 100

③ 2018年度に向けた注力4事業分野における戦略



電力自由化や発送電分離などの国内電力改革への対応、分散電源、再生可能エネルギー分野に注力する。

デジタル技術による工場内の最適化、サプライチェーンの再構築に取り組む。

デジタル技術を活用し、便利・快適・エコな生活コミュニティを実現すること (Quality of Lifeの向上) をめざす。

FinTechや、マイナンバー対応などにより成長をめざす。

4 フロント体制強化

社会イノベーション事業のグローバル展開を加速するために、お客様に価値を提供できる、フロントの体制を強化しています。

- **グローバルフロントの設置**

社会イノベーション事業のグローバル展開を加速させる統括組織グローバルフロントを設置(2017年4月)

- **人財の増強**

コンサル・SE・保守サービスなどの人財を採用(2016年度実績:国内1,000人、海外1,000人)

- **人財の育成**

グローバルな認定基準を設定し、フロント人財への転換を加速

- **M&Aによるフロント機能の強化**

フロント機能をM&Aで強化し、事業を成長

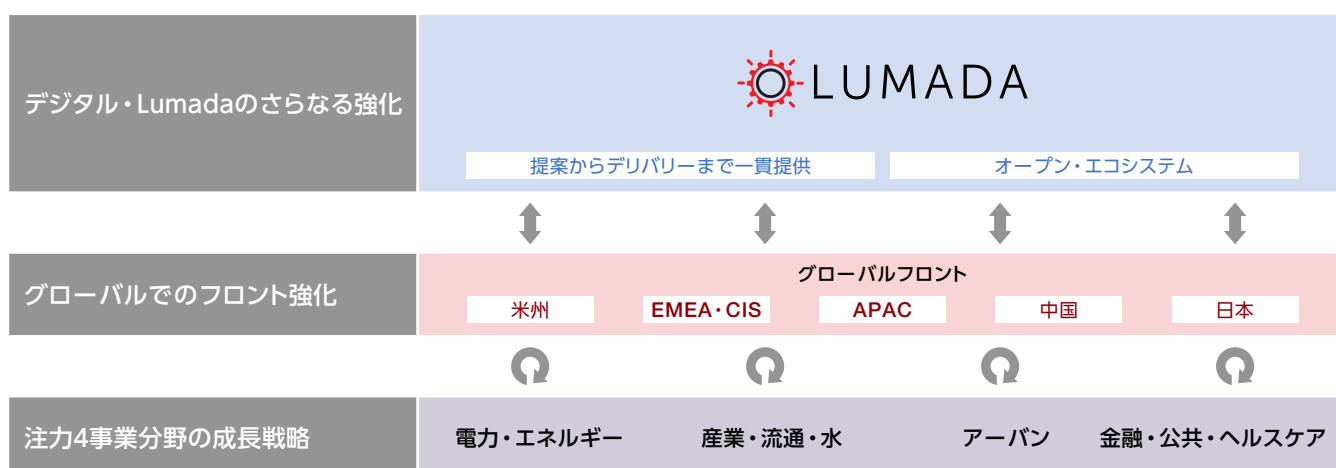
対象:顧客チャネル・保守拠点・プロダクト事業など

フロント強化のための買収実績			
イタリア	アンサルドSTS社	(2015年11月)	ターンキー事業参入とグローバルでの事業拡大
トルコ	クルト アンド クルト社	(2017年4月)	欧州・中東での医療機器の拡販
米国	サルエアー社	(2017年7月)	米国の顧客チャネル獲得と事業拡大
英国	テンプル社	(2017年4月)	欧州での昇降機事業への参入

5 Lumadaのさらなる強化

日立は、制御・運用技術であるOperational Technology (OT)とITを活用し、高度な社会インフラシステムを提供する社会イノベーション事業をグローバルに展開しています。

2016年5月、社会イノベーション事業をけん引するIoTプラットフォームLumadaの提供を開始しました。

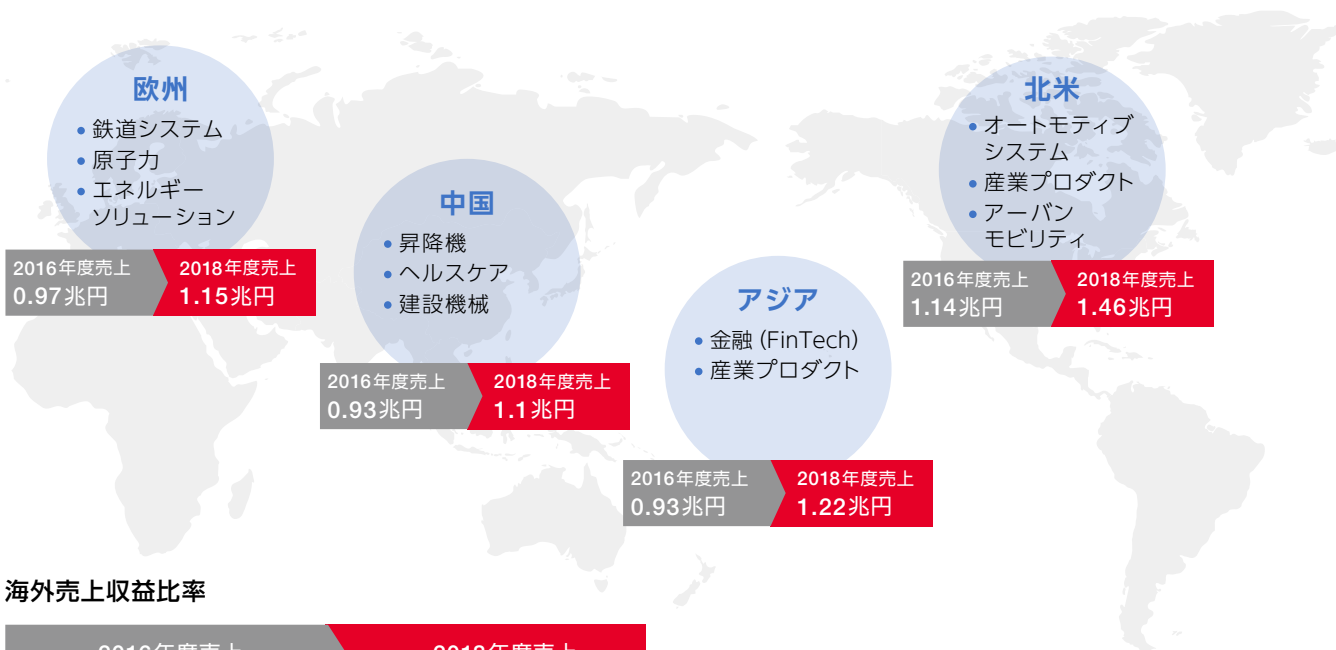


Lumadaは、日立が長年蓄積してきたOTとITの豊富なソリューションの実績を凝縮させたものです。

お客様との協創により、経営課題の分析から仮説構築、価値検証、機器・システムの導入、そして運用・保守まで、お客様に一貫したソリューションを提供します。

また、お客様・パートナー企業との協創事例や社内事例を、活用可能なユースケースとして蓄積することで、お客様への価値提供のスピード向上を実現していきます。

6 グローバルでの事業拡大



海外売上収益比率



7 社会イノベーション事業の深化に向けて

社会イノベーション事業を通じたSDGs*達成への貢献

日立は、2016年1月に発効された国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を踏まえ、グローバル共通の社会課題への視点を広げ、それぞれの課題を深く認識した上で、社会イノベーション事業の推進によって、SDGs達成に貢献していきます。

そのために、SDGsへの理解促進を目的としたワークショップをビジネスユニットで実施するなど、取り組みも始まっています。 **26-27 Value Creation Case 03: 水ビジネス**

日立は、さまざまな事業を展開していることから、SDGsの達成に幅広く貢献できると考えており、今後、具体的な検討に取りかかる予定です。

* 2015年9月に国連が採択した17の目標と169のターゲットからなる持続可能な開発目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

